

## ヤマタグループ

進化を続け、住まいを通じて  
小さな幸せを全力で実現する



お客様の声に  
何でも応えるために  
飛躍的に事業を拡大

鳥取市に本社を置く《ヤマタグループ》は、「小さな幸せを集める」をスローガンに、鳥取で暮らす全ての人が、幸せに暮らすための環境づくりを目指し、多角的に事業を拡大してきた。創業は1971年。住宅は最適なサービスを提供するために、異なる5つの企業から構成されている。

住宅・不動産事業の《株式会社ヤマタホーム》は《クローバー住工房》や《souilact》などの住宅ブランドのほか、不動産仲介を専門とする《やまた不動産Labo》などを展開。そして《株式会社モア・コンフォート》はカフェ兼雑貨・家具販売の《mocolife style store》を運営し、《株式会社ヤマタライフサポート》は住宅のメンテナンスや生活全般のサービスを扱う《なんでもやまた》を運営する。さらに《有限会社コナン住建》を子会社に迎え施工力を確保、リフォーム事業の《ヤマタのリフォーム》をスタートさせた。これらのグループ会社を統括し、円滑な組織運営を行

うのが《ヤマタホールディングス株式会社》だ。

創業者である父、山田建雄氏から会社を受け継ぎ、ヤマタグループの急成長を導いたヤマタホールディングス代表取締役の山田雄作氏は次のように語る。「私自身が若い時にお客様のご要望に応えられず後悔した経験から、「家に関することなら何でも応えられる会社になりたい」と事業を拡大していきました。一人では全てをカバーすることは無理でも、それぞれの社員が得意分野を生かして、鳥取に暮らす人々の住まいや暮らしをサポートを行っています」。組織が拡大していく中で、グループ会社や社員をつなぐ求心力の役割を果たしているのが、同社が掲げるミッション「日常の中にある些細な幸せをたくさん集める」「ビジョン「鳥取で一番、鳥取の人々を幸せにする」「バリュー「人を幸せにすることで、自分たちの幸せにつなげる」の共通認識だ。2023年度からは経営計画手帳を導入して、これらの共通認識の浸透や、社員としてのあり方などを示していく。



グループの躍進を導いてきた山田雄作  
代表取締役社長

## 誰もが気持ち良く円滑に働ける環境づくり



親睦会の第1回目のイベントとして、ヤマタスポーツパークにある鳥取県民体育館を使ってスポーツ大会が開かれた。グループから多くの社員が参加して汗を流し、互いに交流を深めた

### 部署の垣根を越えた交流を機会づくり

グループの拡大によって、店舗数や社員数が急激に増えたことに加え、コロナ禍でこれまで開催されていた研修旅行が見直されたことを受けて、部署の垣根を越えた交流を図ろうと社内委員会《親睦会》が2022年に発足した。親睦会への参加は任意だが、現在は約100名の社員が参加。各部署から選出された役員は、月に1〜2回の委員会を開き、第1回目の親睦会の内容を検討してきた。その結果、例年、研修旅行を実

施していた11月に業務の一環として開催することを決定。過去に開催されたミニ運動会が好評だったことや、ヤマタスポーツパークの施設を年1回使用できる権利を活用しようと、スポーツ大会とし、種目はどの世代も参加しやすいドッジボールを含め、4競技行った。「離れた店舗になると顔を合わせる機会も少ないので、親睦会を通じて部署を超えて汗を流して交流し、良い雰囲気づくりになれば」と梶尾守是会長は期待する。

### 会社のルールや制度を毎年度周知

《経営計画手帳》とは売り上げ目標や店舗情報、企業理念やルール、福利厚生などを集約した手帳のことだ。2022年に総務・HRユニットの宮谷由佳マネージャーら約10名のスタッフが集まり《経営計画手帳プロジェクト》が発足。2023年4月の経営方針発表会での配布を目指し、構成や編集、デザインなど印刷以外の部分を自分たちの手で進めている。「会社の規模が拡大し、社員数も100名を超えました。社員全員の共通認識を持

つこと、社員が活用できる福利厚生や新しい制度を全社員に行き渡らせる方法として、いつでも誰でも確認できるように経営計画手帳の導入が決定しました」と宮谷さんは経緯を語る。手帳は毎年更新され、初年度は160ページの3部構成。1部は毎年更新される内容、2部は企業理念など変更が生じないもの、3部に制度やルールをまとめた。内容を厳選し、見やすさにも考慮して社員への周知を目指す。



プロジェクトを中心となって進める宮谷由佳マネージャー。「働きやすい制度も充実しているので、ぜひ活用して」と手帳の意義を話す

### 代表の構想を形にするためのサポート部隊

2022年4月に設立された新部署《経営支援》は、山田雄作代表の直属部署であり、前田香織事務長のほか財務2名、経理3名で構成される。グループの拡大によって急増した雄作氏の実務の負担を軽減し、経営に傾ける時間を確保する目的で設立された、いわば秘書室のような部署だ。日程調整や情報整理といった代表業務のサポートのほか、各部署の責任者との間に入ってさまざまな調整を行う。「わかりやすく

言うと、代表が思い描く構想を実現するためのサポート部隊。事業展開にあたっての資金計画や銀行対応も含まれます」と前田事務長は説明する。これまで雄作氏が担っていた業務のうち、各部署の経営状況は財務が管理するように、他にも委譲できる業務は経営支援や各部署への委譲を進めている。その他、情報を見える化して部署間での共有を進めるなど幅広い業務を担い、代表の時間確保に努めている。



経営支援事務長の前田香織さんは、20年前に入社。当時の社員数は10数名だった。現場にも詳しく、会社の急成長を支えてきた一人だ

## 新築だけでなく“リフォームもヤマタ”へ



ショールームには各メーカーの水回り設備が一同に展示されており、一つ一つを確認して購入することができる

### リフォーム事業へ本格参入

顧客の声に応え、常に挑戦を続けるヤマタグループだが、2022年秋には住宅リフォーム事業に本格参入を果たした。これまでもヤマタブランドの住宅を購入した既存客のアフターサポートを行ってきたが、スタップや施工体制を整え、鳥取市内の国道9号線沿いに約100坪の売り場面積を誇るリフォーム&増改築の専門店《ヤマタのリフォーム》をグランドオープン。雄作氏は「われわれの強みは住宅事業で培った技術力や、メーカーとの交渉力、そして自社施工体制です。既存、新規を問わず、どのお客様にとっても魅力あるサービスを提供し、お客様に選ばれる会社を目指します」と意気込む。ヤマタのリフォームのオープニング

スタッフは10名。うち3名は工務スタップで、店舗内に併設する《なんでもやまた》とも連携し、大小さまざまな住宅改修に対応する。「営業や接客など、職種にかかわらずチームワークを高め、鳥取で一番のリフォーム会社を目指したいです」と語るのは責任者の竹村功さんだ。竹村さんは20代から国内最大手アパレルメーカーで活躍し、40代で3000名の部下をまとめ上げるなどリーダーシップを発揮。鳥取で生まれ、3歳まで過ごしたが、当時の記憶はほとんどない。「自分が生まれた故郷で、何もしていないという思いに駆られて鳥取に戻ってきた。『鳥取で一番、鳥取の人々を幸せにする』というグループの考えに強く共感しています」と言葉に熱がこもる。大勢の部下を率いた経験は、何よりの財産だ。「当時、任される仕事が増えるほど感じたのは、仕事は一人ではできないということ。このお店も、スタップみんなで見えを出し合ってつくり上げていきます」とチームワークの重要性を語る。

スタッフの一人、西川育子さん（接客・事務担当）はグランドオープンに向けてショールームの内装や展示に女性目線を生かした。「住まいの中心にあるのは女性。ショールームに展示する設備やインテリアに関して、多くの意見を取り入れてもらえました」という言葉の通り、キッチンや浴槽などの水回り設備は各メーカーから一同に取り寄せ、実際の品ぞろえを実現。トイレは3つあり、実際に使用して使い心地も確認できる。「新事業のオープニングスタッフを任せられ、準備は大変ですが、自分の知識がどんどん広がるのが楽しいです」と生き生きと語る。竹村さんもまた、「新築だけではなく、リフォームもやっぱりヤマタだと言っていただけのような会社にしていきたいですね。そのためには一人ひとりのお客様に確実に満足をお届けしていくことが大切と考えます」と新事業への想いを語ってくれた。



店舗の運営について、アットホームな雰囲気の中でそれぞれのスタッフの立場からアイデアを出し合う



ヤマタグループ

**業種** 建設業・不動産業・サービス業・  
べんり業・人材紹介業

**事業内容**

- 注文住宅/リフォーム工事
- 不動産の売買・開発・建築・賃貸
- カフェ・インテリアショップ
- ハウスクリーニング・メンテナンス
- 新建材販売

創業 昭和46(1971)年4月  
代表者 グループ代表 山田 雄作  
社員数 120名(男64名 女56名)  
〒680-0911  
鳥取県鳥取市千代水2丁目130番地  
TEL/0857-30-0006  
https://yamata.co.jp

- ヤマタホールディングス株式会社  
とっとり転職の相談窓口
- 株式会社ヤマタホーム  
クローバー住工房鳥取店・倉吉店・米子店  
soulact、HOME&BASE  
不動産相続の相談窓口  
とっとり賃貸サービス、Ain asset assist  
やまた不動産Labo  
ハウズドゥ 家・不動産買取専門店
- 株式会社モア・コンフォート  
moco lifestyle store
- 株式会社ヤマタライフサポート  
なんでもやまた  
ヤマタのリフォーム  
とっとり空き家.com
- 有限会社コナン住建

**求める人材像** Check!!

お客様の幸せを自分事のように喜べる方や、失敗を恐れずにチャレンジできる方。  
また、1・J・Uターンで鳥取を選んでプライベートも充実させたいと考えている方。  
どの職業に就いていいかまだ迷っている学生の方。  
ぜひ、お待ちしております!

資料請求・お問い合わせ先

採用直通 TEL

0857-30-0006

採用直通 E-mail

recruit@yamata.co.jp

資料請求

インターンシップ

会社見学

公式サイトは  
こちら



1 会社の有志で親睦会の委員が構成され、毎月内容について話し合った。事業が多角化し、エリアも広がる中、多くの社員がスポーツを通じて交流を深めた 2 新入社員と2年目の社員が企画から実行まで自分たちで行うYGC(ヤマタグローキャンブ)。今年は旧市役所前に所有するビルで1日限定のデパートを計画している 3 不動産分野の新規事業としてスタートした《やまた不動産Labo》は不動産売買に特化。ゆったりとしたカフェ空間で物件探しができる

**飛躍の先に見据える未来**

ヤマタグループの2022年度のテーマは「飛躍」だ。「グループ人員100名突破」と「グループ売上30億円」の両軸でさらなる成長を目指す。不動産部門では買取専門事業もスタート。円滑な組織運営のために、経営陣とグループ企業をつなぐ部署の《経営支援》も立ち上げた。

その上で、今後の目標は現在展開するサービスを県内全域に拡大することだ。これまで鳥取県東・中部を中心に展開してきたが、2021年のクローバー住工房の西部進出を足掛かりに、リフォーム事業や不動産事業の拡大を目指している。

この勢いを後押しするのが、鳥取県立布勢総合運動公園のネーミングライツ取得による認知度の向上だ。

陸上や野球などの各種競技やイベント開催によって《ヤマタスポーツパーク》の愛称は広く知られ、多方面から反響が寄せられている。また、広く知られるようになったことで社員の誇りも生まれた。以前よりもSDGsや地域貢献などに積極的にかかわる姿勢が見られ、社員の意識にも変化を与えている。

知名度のアップはより広範囲の学生が興味を持つきっかけとなり、人材獲得の面でも良い影響をもたらした。「私たちが求めるのはチャレンジングな人。人は自分で想像できる範囲でしか行動できません。枠をつくらず、広い範囲に目を向けてほしいですね」と話す雄作氏は、普段から「高い視座を持つこと」を社員に呼び掛けている。「店長、あるいは経営者の視点からものごとを見渡す

ことで、考え方や行動は変わります。グループが拡大する中で、リーダーの視点を持つ人材を育てていきたいです」と、人材育成に注力。内定者研修にはじまり、若手社員が企画から運営まで実践形式で行う《YGC(ヤマタグローキャンブ)》など、経験や段階に応じて研修を行い、大切に育てている。

また、雄作氏は県内全域へのサービスの拡大という目標のさらに先も見据えている。「鳥取をより良くするために、そろそろ県外に向けたサービスの提供も視野に入れる必要があるでしょう。具体的な内容はまだ考えていませんが、県外にサービスを拡大することで資金力を高め、鳥取にインパクトを与えられる企業でありたいですね」と、穏やかな口調の中に強い意志が感じられた。

未来を担う新入社員たち



ヤマタのリフォーム/営業  
春本 真那さん(26歳)

地域の笑顔のために働きたい

大学で土木や建築を学び、この業界に。先輩方は明るく優しく、部署関係なく声をかけてもらい強いチームワークを感じます。すべての先輩社員を目標に、鳥取の人たちの笑顔のために活躍したいです。



ヤマタホールディングス/DX推進ユニット  
垣本 拓夢さん(20歳)

各部署のDX化を推進

岡山県のIT系専門学校に在学中、DX推進ユニットを知り入社。建築の専門用語がわからないため、難しさも感じつつ、自分の仕事も含めて各部署のさまざまな業務のDX化、効率化を図っています。



クローバー住工房鳥取店/営業  
會見 宗一郎さん(21歳)

明るい雰囲気の魅力

大阪の建築系専門学校で学び、就職説明会はオンライン参加。雰囲気が明るく、自分に合っていると感じました。研修を経て現在の部署に配属され、先輩の接客対応から日々勉強させてもらっています。



ヤマタホーム/技術部工務  
横山 潤平さん(26歳)

現場監督としての成長を実感

祖父が大工で建築に興味を持ち、今は新築住宅の現場監督です。任される仕事が徐々に増え、成長を実感します。できることを増やし、先輩のような雰囲気の良い現場づくりができるようになりたいです。



クローバー住工房鳥取店/アシスタント  
濱田 理緒さん(23歳)

頼られるアシスタントが目標

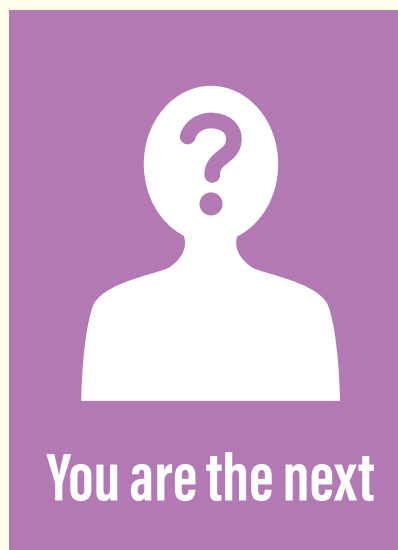
2か月間の新人研修は、住宅の知識や社会人としての基礎を学べただけでなく、同期との仲間意識も芽生えました。今は憧れている先輩アシスタントのように、誰からも頼られる存在を目指しています。



クローバー住工房鳥取店/営業  
島崎 彩羽さん(21歳)

きっかけはインターンシップ

高校生の時に当社のインターンシップを経験し、家づくりに興味を持つように。今は住宅の専門知識など覚えることが沢山ありますが、先輩社員が気さくに声をかけてくださるので相談しやすいです。



クローバー住工房米子店/アシスタント  
福田 さくらさん(22歳)

周囲からの言葉がやりがい

本社での2か月の研修を経て米子店に配属。仕事は接客や契約書の作成、顧客管理など幅広いです。社員の皆さんは「ありがとう」といつも言ってくれますし、お客様に覚えてもらえるとうれしいです。



クローバー住工房米子店/営業  
西山 萌菜さん(23歳)

トライ&エラーで挑戦中

建築や住宅の知識が少しずつ身に付いていることが今のやりがい。ミスをした際に「失敗も学び。みんなサポートするからトライ&エラーで頑張ろう」と店長に励まされ、前向きに挑戦しています。